

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：健康増進対策費

事業名 県民健康意識調査費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 健康増進係 電話番号：058-272-1111(内2548)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,100 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,100	0	0	0	0	0	0	0	3,100
決定額	3,100	0	0	0	0	0	0	0	3,100

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

ヘルスプランぎふ21は、岐阜県健康増進計画として平成14年度に策定し、28年度に実施した県民健康意識調査・県民栄養調査の結果を踏まえ、29年度に「第3次ヘルスプランぎふ21」（計画期間平成30～35年度）を策定した。計画においては、基本目標と7領域の生活習慣・生活習慣病について68項目の目標指標と目標値を掲げており、そのうち10項目について岐阜県独自の実態調査が必要である。さらに、健康状態や運動、食習慣、コロナ禍による生活の変化等についての調査を実施し、計画の評価指標とするため、県内に居住する20歳以上の男女4,000人を対象に、郵送及びWEBによる調査を行う。

(2) 事業内容

- ① 調査対象：県内に居住する20歳以上の男女4,000人
- ② 調査内容：健康状態、運動習慣、食習慣、ストレスや休養、喫煙・飲酒、健康診断受診の有無等
- ③ 調査方法：無作為抽出した対象者へ、郵送により調査票を送付・回収
- ④ 集計等：調査結果の集計、分析、報告書の作成

(3) 県負担・補助率の考え方

健康増進法第8条の規定により、都道府県は、住民の健康の保持・増進のための「健康増進計画」を定めるものとされており、計画の評価、さらなる推進のための県民の生活、健康意識等の実態調査が必要である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	60	業務旅費
需用費	60	事務消耗品費
役員費	180	電話・郵送代
委託料	2,800	調査票印刷、発送、集計、作表、分析、報告書作成
合計	3,100	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次ヘルスプランぎふ21は、健康増進法第8条における都道府県健康増進計画である。

(2) 国・他県の状況

国の計画は「健康日本21（第2次）」、計画期間は25年度～35年度までであり、5年を目途に中間評価を行う。

(3) 後年度の財政負担

周期事業（健康増進計画改定の1年前に調査を実施する）

(4) 事業主体及びその妥当性

健康日本21（第2次）において、都道府県は住民の健康状態や生活習慣の把握に努めることとされており、県が調査を実施することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和5年に第3次ヘルスプランぎふ21（岐阜県健康増進計画）の評価を予定しており、評価のために必要な調査について検討を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

定量的に示す指標がない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	ヘルスプランぎふ21は健康増進法第8条に基づく都道府県健康増進計画であるため、計画を評価し、さらに効果的な事業を推進する上で必要性が高い。また、今般の新型コロナウイルス感染症の影響による生活習慣の変化を把握する上で必要性は高まっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 2	調査票の送付、回収、集計、作表、報告書の作成まで調査機関に委託することで、作業の効率化を図る。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 計画の評価時期にあわせて、今後も調査を実施する (計画改定1年前)

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】